

よっ葉だより

2021 年
7月12日号
No.659

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862



真心こめて、商品をお届けしています。

伊勢崎センター

日頃より、よっ葉生協をご利用いただきありがとうございます。

伊勢崎センターでは、群馬県と栃木県足利市の一部を、配送担当エリアとさせていただいております。

お届けする商品の積み込みから一日が始まります。お届けする順番に仕分け作業を行い、トラックの点検、配送スタッフの健康状態の確認、検温も毎日欠かさず行い、トラックの中にはいつでも手指の消毒が出来る様、除菌スプレーを常備して感染予防対策を行っています。

これからの時期は熱中症の危険性も高まるので、トラックの運転時やトラック内での作業時など、人との距離が保てる場合のみ、マスクを外して業務を行っています。ご理解の程、宜しくお願い致します。

また、配送担当者おすすめ商品のご購入や、各種キャンペーンのご協力ありがとうございます。

これからも感染予防対策、熱中症対策を十分に行い安全運転を第一に安心・安全のよっ葉生協の商品をお届け致します。

伊勢崎センター 永藤 博



置き配へのご協力ありがとうございます。元気にお届けします！



6 月 12 日 よつ葉生協総代会にお祝いのメッセージをいただきました

よつ葉生協通常総代会開催にあたり、多くの生協、団体様からいただいたお祝いのメッセージを一部ご紹介します。

第 39 回通常総代会の開催に心からお祝いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済が低迷しています。2020 年の完全失業者数は 195 万人と前年より 44 万人も多くなりました。失業まで至らなくとも、仕事量の減少、小規模小売業での売上高の減少があり、収入減となった方も多く、生活困窮者が増加しました。

また、地球温暖化が引き起こす自然災害も世界中で頻発しています。日本でも「令和 2 年 7 月豪雨」により、熊本県を中心に広範囲が甚大な被害に見舞われました。

こうした状況の中、よつ葉生協のみなさまが、「新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金」やフードバンクを通じた食料提供などの地域での社会貢献活動に取り組み、有機農業の推進、石けん普及活動、プラスチック削減運動等、環境保全活動に力を尽くしていらっしゃることに、深く敬意を表します。

当法人がよつ葉生協のみなさま、とちぎコープ生協と三者共同で実施している「おたがいさま活動」、「コープくらしの電話相談室」は、コロナ禍の中でも活動を続けております。「おたがいさま小山栃木」には、病院の付き添い、家事、買い物代行など通常とほとんど変わることなく依頼があり、応援者さんのお陰で 2020 年度は 1316 件、2555.5 時間の活動となりました。「コープくらしの電話相談室」では、昨年度、228 件の相談をお受けしました。内容は多い順に①話し相手、②商品、③心理、④医療、⑤子育て、⑥相続、⑦トラブルです。「コロナではないか不安」という方もいらっしゃいました。話を聞いてもらえるだけで安心する、という方もいらっしゃいます。

コロナ禍の影響は大きく、これまで以上に格差が拡大し、社会の分断が進むことが懸念されます。相互扶助の精神のもと、連帯して助け合い、自分たちの生活を守り、向上させる協同組合が、その力を発揮することが求められています。

引き続きの連携、協同をお願い申し上げるとともに、貴生協の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

2021 年 6 月吉日

社会福祉法人ふれあいコープ 理事長 竹内明子

貴生協(連)の通常総(代)会の開催、誠におめでとうございます。友好生協として、日頃よりのご理解ご支援に感謝申し上げます。ありがとうございます。

非日常だと思っていた日々が、もはや日常になりつつあります。この一年、さまざまな立場のみなさんの声を聴き、葛藤の中におりました。それは、全国民、全世界の人々に共通する体験だったと拝察しております。

生協の父、賀川豊彦の最期を看取った日野原重明氏が、同じく最期を看取った人物のひとりに、世界に"ZEN[禅]"の心を伝えた鈴木大拙がいます。彼も賀川同様、ノーベル平和賞候補に挙がった人物でした。

大拙は「禅」について、このように語りました。「禅とは自己の存在の本性を見抜く術であって、それは束縛からの自由への道を指し示す。言い換えれば、我々一人一人に本来備わっているすべての力を解き放つのだ、ということもできる。」と。

「禅」とはサンスクリット語で「精神集中」を表します。若い方々にもわかりやすく表現すると、「全集中」と言い換えることができるでしょうか。

「自分は世界人としての日本人のつもりでいる」という大拙は、東洋・日本の文化や思想を西洋に伝えたが、それは西洋に対する東洋の優位、ましてやその逆を語ったわけでは決していない。「東洋/西洋という対立」「有/無をはじめ物事を二つに分ける考え方そのもの」に対して問題を提起し、そうした概念の生まれる前の大本をみることの大切さを大拙は説いている。(猪谷聡氏の解説より引用)

「ニッポンは世界の雛形」といわれています。たくさんの揺さぶりから生まれる葛藤の中にあっても、堪(こら)えて前を見据えて進んでいく。「生協」に関わるわたしたちは、対立の概念を乗り越えて、ひとりでも多くの方が居心地のよい世界を目指して、よりよき方向へと進みたい。

志を同じくするみなさまの、このたびのご盛会を心より祈念しつつ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和三年五月吉日

やまゆり生活協同組合 理事長 二戸依里

「助けて！」と言える地域社会に

◇「**おたがいさま**」(社福)ふれあいコープ 助け合い活動 …家事/介助/子育て等応援、有償ボランティア活動
利用料金 1 時間 800 円×応援者人数～(＋交通費実費) 平日午前 9 時～午後 5 時

おたがいさま宇都宮 ☎ 028-645-2530 (平日 午前 10 時～午後 4 時)

おたがいさま小山・栃木 ☎ 0285-39-6266 (平日 午前 10 時～午後 4 時)

◇「**コープくらしの電話相談室**」

くらしの悩み、一人で悩まずお電話を ☎

028-612-2531 (月～金 11:00～17:00 祝祭日・お盆・正月は除く)

詳しい内容や
利用されたい方は直接
お問い合わせください。

産直委員会発

8月1週の果物特集から果物おすすめ

フルーツいしいさんを 6 月 11 日に、商品部の担当菊池さんが訪問してきました。訪問時のレポートをまとめました。

○フルーツいしいさんって？

周囲を山々に囲まれた福島県会津盆地の、野菜や果物が美味しく育つ地で米・果物・野菜を栽培する、4 代続く農家さんです。代表の 70 歳 3 代目の石井さん、32 歳 4 代目の息子さんも元教員です。

栽培のこだわり

美味しく栄養のある作物をつくるために「作物が自然の中で伸び伸びと育つ環境づくり」を意識しています。光合成を十分させ、土壌の栄養バランスが整うように作物が必要としている成分を時期、量を見定めて施し、作物本来の味を引き出しています。

今春の霜害

福島県は 7～8 割も被害を受けたそうです。石井さんは柿が少し被害を受けた程度で済んだとのこと。

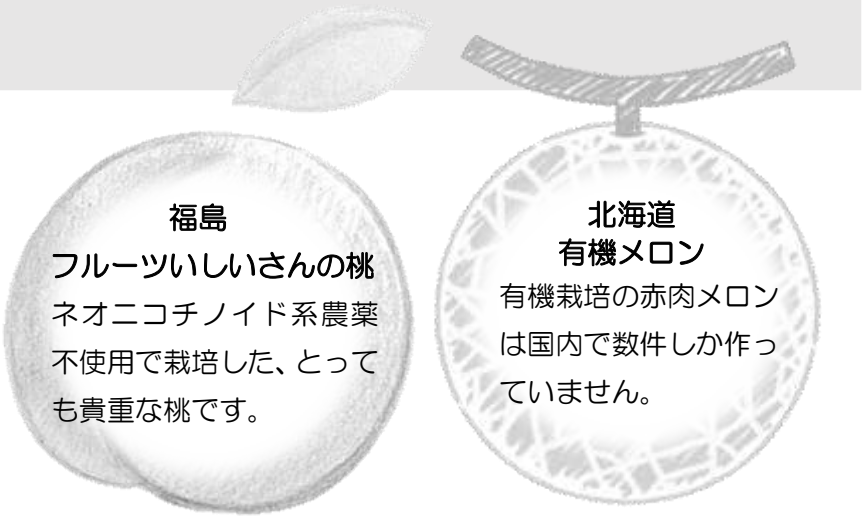
今年の生育状況

9 日くらい早く生育しています。そのため 7 月 3 週より桃のご案内を始めています。

食品ロス対策

不良品を畑に捨てず、ドライフルーツに加工して活かしています。畑に不良品を放置すると野生動物も来るため、「野生動物対策」にもなっています。

よつ葉生協の産直委員会に関わり、農家さんの栽培の様子・こだわり・大小の異常気象や自然災害に向き合う様子を知ることができました。また、美味しい匂いを放つ果物は虫や病気がつきやすく、ネオニコチノイド系農薬不使用や有機栽培で作ることはとても貴重でとても大変なことだということも知りました。裏を返せば、一般的な果物の栽培には農薬がたくさん使われていることが多いということ。そんな中で安心して食べることのできる果物をよつ葉で買えることは、とてもありがたいことです。貴重な果物を 8 月 1 週で特集しています。桃は 10 月初めまでご案内していきます。ぜひ、ご賞味ください！



福島
フルーツいしいさんの桃
ネオニコチノイド系農薬
不使用で栽培した、とっ
ても貴重な桃です。

北海道
有機メロン
有機栽培の赤肉メロン
は国内で数件しか作っ
ていません。

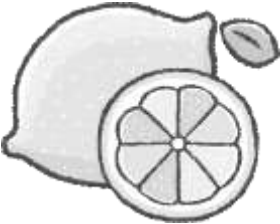
豊富な品種と長い出荷期間

桃は他では見られない 40 種類もの品種を栽培しています。「くらら」では 7 月～10 月初めまで、その時期に美味しい品種を「品種名」を書いてお届けします。



「国産レモンについて」

6, 7, 8 月は、一般的に国産レモンが出回りません。よつ葉では、今季から 6, 7, 8 月に高知県産ハウス栽培グリーンレモンを取り扱い、安心して食べることのできる国産レモンを年間通して提供できるようになりました。



(産直委員会 針谷光絵)

「みどりの食料システム戦略」について

5 月 12 日、農林水産省が長期食料政策「みどりの食料システム戦略」(以下「戦略」)を発表しました。この「戦略」は日本農業が 2050 年の達成をめざすビジョンで、「食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現」という副題がついています。

この戦略は、今年 9 月に予定されている国連食料システムサミットを視野に入れ策定されました。背景には、気候変動対策、生産者の減少や高齢化、SDG s (持続可能な開発目標) 達成などの解決にむけた国際的な取り組みがあり、たとえば他国で、以下のような政策が打ち出されています。

- ①EU: Farm to Fork (農場から食卓まで) 戦略 (2020 年 5 月)
2030 年までに化学農薬の使用およびリスクを 50%減、有機農業を 25%に拡大する
- ②米国:「農業イノベーションアジェンダ」(2020 年 2 月)
2050 年までに農業生産量 40%増加と環境フットプリント半減



国は、環境負荷の軽減に寄与する「イノベーション」を推進しながら、「持続可能な食料システムのモデル」としての実現をめざしています。

「戦略」の主な柱 2050 年までに目指す姿

- ①農林水産業の二酸化炭素排出実質ゼロに
- ②耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を 25% (100 万 ha) に拡大する
- ③化学農薬の使用量 (リスク換算) を 50%削減する
- ④輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を 30%低減する

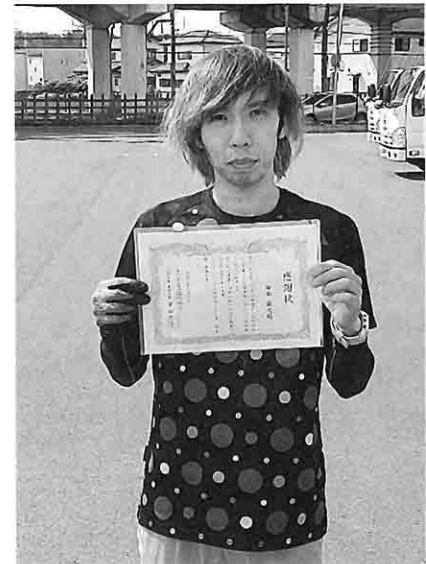
地球規模の問題が山積みしているなか、日本の農業分野であと 30 年、どのように実現させていくのか、政府が打ち出す「イノベーション」とは何か、「戦略」と付随して懸念される問題について、今後お伝えします。(理事 三輪)

嬉しいですね。人命救助の活躍、再び。

よつ葉生協の配送担当職員が、人命救助の活躍をしました。

5月26日、小山センターの田熊俊文さんが佐野市内を配送中、トラックを止めての商品仕分けの作業中に付近で事故が発生。すぐに駆け付け、横転していた車の中から、中にいた2名に手を貸して救出しました。動揺していたお二人に代わり救急と警察へ通報し、状況説明をし、ご家族が来るまで付き添って差し上げたそうです。翌日、ご家族からお礼の電話が入り、軽症だったとのこと。ご無事で何よりでした。

よつ葉生協の配送業務は、地域や組合員の見守り活動になっています。社会的責任の遂行と人道支援の模範となる行動に、よつ葉生協から感謝状を贈りました。



「小山センター」 田熊俊文さん

ワクチン接種、皆さんどう思ってる？

コロナワクチン接種が始まっています。「皆さん、どう思ってる？」の声を、組合員さんからいただきました。様々な思いがあると思います。皆さんのご意見をお聞かせください。8月9日号で、可能な限り掲載させていただく予定です。よつ葉生協では、ワクチン接種はそれぞれの個人が置かれている状況や考えに応じ、選択するものですので、その判断は尊重されなくてはならないと考えています。様々な思いや考えを、尊重しつつ、知り合う機会になればと思っています。

組合員さんの声

いつもお世話になります。

N.O.653 冒居会長のお話、とてもよいお話でした。「しかめっ面にならない程度で…」
「1年・2年…と根気よく…」ほんとにそうです。
良い事も、しかめっ面では楽しくありません。
長続きもしません。はじめからガラッと変わらなくても大丈夫。なんか、あたたくくなるお話でした。あったかく生きたいなあ、育てたいなあ。
自分の反省も込めて思いました。

(伊勢崎地区 Y・Sさん)

5/27 やさと農業体験の記事拝見しました。
トウモロコシ・かぼちゃ苗の植えつけお疲れさまでした。コロナが収束し農業体験ができることを祈っています。よつばさんでやさとの野菜いつもいただいています。

(宇都宮地区 斎藤義夫さん)

ずっとお休みしていたよつ葉生協。先日再開し、久しぶりの大好きだった商品が届きました。楽しみに食べたら、「ああ、これこれ!!」と美味しく頂きました。再開して良かったです。安心・安全で美味しいよつ葉生協さん、これからもよろしくお願いします。

(宇都宮地区 K・Tさん)

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (6月5週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位: 円)

栃木コロナ支えあい基金 (860 番)	5, 200
群馬コロナウイルス対策募金 (861 番)	3, 500
茨城誰かのために募金 (862 番)	1, 000
合 計	9, 700

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口 100 円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (6月5週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位: 円)

放射能から子どもを守る募金 (900 番)	6, 300
震災孤児を支援する募金 (910 番)	25, 000
「有機農業と国産種子」募金 (920 番)	7, 500
合 計	38, 800

共同購入注文書裏の「10 品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側「企画商品」内の「復興支援募金」をクリック。一口 100 円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp



ホームページ



Facebook



Instagram